

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	名都借跨線橋道路拡幅改良事業			会計	款	項	目	大	小
				01	08	02	03	01	70
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	道路建設課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	石井 菊次				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民・児童	意図	拡幅改良により、普通自動車の相互通行及び、緊急時の大型車の通行や歩行者の安心安全を確保する。
事業内容	旧たけのこルーム前交差点から国道6号線までの延長325mについて、緊急時の大型車の通行や歩行者、自転車の安全な通行を確保するため平成24年度より整備を進めている。			
事業開始から現在までの状況変化	平成24年度は、千葉県公安委員会、JR東日本、国道事務所と協議を実施し、平成25年度には、橋梁等の詳細設計を行った。平成26年度から用地取得に向けての不動産鑑定、物件調査を行い、用地取得を進めている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	整備率	15.75	28.30	37.20	%	↑↑↑	863,979,426円/2,324,030,000円 (執行済額/全体事業費)
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 整備区域内地権者34名の内29名と用地補償契約を締結した。本体工事施工に向けて、JR東日本と協議を進めた。側道整備工事を1件（L=129m W=4m）発注した。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		214,841,801	291,187,829	293,173,336				
事業費(b)(円)		203,546,801	280,890,329	283,105,336				
うち一般財源		31,753,801	59,418,379	134,182,586				
職員給与費(c)(円)		11,295,000	10,297,500	10,068,000				
人役・職員(人)		1.50	1.50	1.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	用地取得及び物件調査並びに建物等の補償契約締結に向け交渉を進める。また、一部側道整備工事とJR東日本による施設の移設工事に着手する。	③取組の課題	引き続き、用地買収に向けた地権者合意が必要となる。又、事業を円滑に進めるため早期の関係機関との協議完了が必要になる。
②今年度(H29)に実施した取組	整備区域内地権者34名の内29名と用地補償契約を締結した。国道6号線側から側道整備工事に着手した	④今後(H30以降)の改善計画	住民の立場に立った交渉を行い、早期の契約につなげる。